

牧秀悟選手（横浜 BS）、二冠王に！

上原 昇（2組）

10月4日、プロ野球セ・リーグの全日程が終了した。

1位は{あれ}が話題となった阪神タイガース、2位は広島東洋カープ、3位は横浜 DeNA ベイスターズで巨人は4位に終わった。今月14日からはクライマックスシリーズが始まる。長野県中野市出身の牧秀悟選手(横浜 BS)が見事、打点王と最多安打賞の二冠王に輝いた。プロ3年目の今シーズンはずっと好調を維持して、143全試合に出場、559打数164安打、打率.293(4位)、本塁打29本(3位)、打点103(1位)、安打数(1位タイ)という立派な成績を残した。

過去、主要な打撃タイトルを獲得した長野県出身選手は、古くは1リーグ時代の1938年秋に三冠王の中島治康(巨人、松本商業から早大)、1955年に町田行彦(国鉄、長野北高)が本塁打王になって以来の快挙となった。

牧選手が幸運だったのは、横浜 BS にドラフト入団して、早くから主軸(四番)を任せられ、実力を発揮出来たことがある。これが巨人やヤクルトだったら岡本、村上という先輩スラッガーがいるので、ここまでの打点は稼げなかっただろう。

伝説のプロ野球選手、長嶋茂雄の3年目の成績を調べてみた。

出場試合数126、打数452、打率.334(151安打、首位打者)、本塁打16本、打点64。試合数が違うので一概に比較は出来ないが、打率以外では長嶋を大きく上回っている。

中野市の湯本隆英市長はメッセージで「今年はタイトル獲得のほか、WBCの侍ジャパンの一員としての活躍や、8月の月間 MVP 受賞など、年間を通じて素晴らしい成績を残されたことに対し敬意を表します。これからクライマックスシリーズでの日本一を祈念し、市民の皆様と声援を送りたいと思います」と綴っている。

筆者(上原)も当 HP で牧選手のタイトル獲得を予言していただけに、巨人ファンというのは別にして素直に祝福したい。これからも “頑張れ！ 信州の☆ 牧秀悟”



牧秀悟選手

(2023年10月6日記)



中野市役所にはお祝いの横断幕が

以上